

# 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取工業高等学校

重点項目	専門人材育成重点校	提出日	平成30年2月6日
------	-----------	-----	-----------

1 学校目標
『地域を支える人財（材）、技術者の育成』 技術を研ぎ、身体を鍛え、心を磨くことをとおして、優れた知性や創造性を身に付けたたくましい力と、感動したり他者を思いやるあたたかな心を兼ね備えた、健全で個性豊かな人材の育成をめざす。
2 重点項目に係る目標
(1) 学力の向上 ア 授業改革と学力の向上 イ 主体的な学習態度と実践力の向上 (2) 豊かな人間性の育成 ア 互いを尊重する態度と社会性の涵養 イ 健全な心身と社会貢献精神の育成 (3) キャリア教育の充実と進路実現 ア 専門的な知識・技術の習得 イ 勤労観・職業観の育成と進路指導の徹底 ウ 地域や産業界との連携強化 <数値目標> (1) 基礎力診断テストにおいて国公立大学への進学を視野に入れることができるBゾーン以上の学力層にある工業学科生徒割合20%以上（現状：平成29年12月現在…11%） (2) 就職内定率100%（公務員を含めた第一希望先就職内定率90%以上） （現状：平成30年1月末現在…就職内定率98%、第一希望先就職内定率88%） (3) 単年度資格取得数一人一資格以上（現状：平成30年1月末現在…0.55資格/人） (4) ジュニアマイスター顕彰（複数の難度の高い資格取得者を顕彰するもの）者10名以上 （現状：平成30年1月現在…6名）

### 3 事業計画（事業名、事業概要）

#### 【高等学校課事業】

- ・ 21世紀型能力を育むための講師派遣事業  
本校職員による研究授業を全員で参観し、協議・意見交換を行って課題を共有したのち、講師による講義を聴講し、理解を深める。
- ・ 外部人財活用事業（県立高校・大学教員の教員交流事業）【鳥取大学】  
制御・情報科の生徒が大学の先生からマイコンカーラリー等のロボット製作及び制御プログラミングの開発と改良について、直接学ぶ。
- ・ 外部人財活用事業（社会人講師活用事業）  
社会人講師と教職員のティームティーチングによる授業で行い、三相誘導電動機の正・逆転回路、インターロック回路の知識と技能を習得させる。
- ・ 鳥取県版キャリア教育推進事業（1年生）  
1年生の進路LHRで「さまざまな働き方、暮らし方」をテーマとして地元企業の方をお招きして、地元企業の理解とその魅力について考え、自身の進路設計の一助とする。
- ・ 鳥取県版キャリア教育推進事業（2年生） 先輩を囲む会  
各学科の卒業生を招き、各企業や進路先に関わる話を聞くことで、「働くこと」や「学ぶこと」の意義について考え、翌年度の進路目標に向けた行動計画を考える参考とする。
- ・ 鳥取県版キャリア教育推進事業（3年生） 社会人としての基礎教養講座  
社会保険労務士会、鳥取県労働者福祉協議会等から派遣の講師の講義により、就職・進学後に必要なビジネスマナーや社会常識等を習得し、社会の一員としての自覚を深め、卒業後の環境変化にスムーズに対応する力を身につける。
- ・ 鳥取県版キャリア教育推進事業（1・2年生） 分野別進路ガイダンス  
鳥取テクノヒルズ会員企業を中心に、地元産業界及び上級学校から派遣の講師の講演により、生徒及び保護者が各業種別の内容や実態、諸学問の分野別の内容を知り、進路について考える機会とする。
- ・ 学校連携チャレンジサポート事業  
鳥取湖陵、鳥取商業、智頭農林と連携して、専門高校の教育内容を発信。各校の生徒が直接に地域住民や小中学生に各校の専門性をアピールすることにより、地域の産業やものづくりの大切さを伝える機会とする。

#### 【独自事業】

##### （1）授業改革・学力向上事業

- ・ 教員授業力向上研修

普通教科教員は予備校セミナーに、工業科教員は各種研修会・講習会に参加することで、最新の技術や実践方法、情報を取得する。

##### （2）豊かな心育成事業

- ・ テクノボランティア

近隣の高齢者住宅や社会福祉施設等を訪問して、電気製品等の簡易な修理や清掃等を行う

ことで、自己肯定感を高め、地域社会の一員としての自覚を深めることができる。

- ・生徒活動活性化事業

生徒会執行部を中心に、先進校視察やリーダー研修を行い、生徒会活動を企画・実践していくことで、リーダー性や主体性を育むことができる。

(3) ものづくり技術育成事業

- ・課題研究充実事業

課題研究発表会やそれに向けた1年間の目標・計画設定や制作等を通じて、専門的な知識と技術の深化・統合を図るとともに、鳥工版デュアルシステムで、より実践的な職業知識と技術・技能を習得する。

- ・資格取得促進事業

社会人講師等の指導を受けながら資格取得にチャレンジすることで、日頃の学習成果の定着を図るとともに、より専門的な知識・技能の習得を果たす。また、就職・進学ともに進路選択の幅が広がる。

- ・創造的技術育成事業

マイコンカーやエコデンカー等の競技大会に参加することで、実習で学習した技術を応用し、工業の総合的な力を付けることができる。

- ・ものづくり技術育成事業

「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及びその予選に参加することで、製造業を支える技術者・技能者への成長を促し、より高度な検定受検・資格取得の動機付けとする。

(4) キャリア教育推進事業

- ・インターンシップ

工業の学習内容が現場でどう活かされ、応用されているのかを体感し、職業観・勤労観を育み、進路選択の一助とする。また、実社会で必要な知識やマナーを身に付ける。

- ・ものづくり講演会

優れた技術者・職人の講演を聴くことで職業観・勤労観を育むとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしさを再認識して、学習意欲をさらに高める。

- ・進路指導支援事業

就職・進学実績の多い県外企業及び大学を訪問し、卒業生の様子を把握し、進路先と情報交換することで、生徒の定着指導及び進路指導の充実を図る。

(5) 地域連携推進事業

- ・鳥工テック

実習棟や体育館等で各科の日頃の学習成果を地域の小・中学生や一般の方々が参観、体験することで、生徒は企画・実践・表現する力を高めることができ、地域には本校や工業についての理解を深め、興味関心を高めてもらうことができる。

- ・中学生体験入学

中学生が本校の工業各科の学びや部活動を参観・体験することで、本校の魅力や「ものづくり」の楽しさを体感し、本校への進学が魅力的な選択肢であることを理解してもらう。

・「工業っていいかも！」事業

本校生徒・教員が近隣の中学校を訪問して、本校での高校生活を生の声で届けたり、本校教員が中学校に出向いて技術・家庭科や理科の関連分野の授業を行って学習支援することで、本校や工業についての理解を深めてもらうことを通じて、地域の人材育成に資する。